

# 「第 25 回製剤機械技術学会仲井賞」 受賞者の選考結果について

The 25th NAKAI Award of Japan Society of  
Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員会 委員長 戸塚 裕一  
Yuichi Tozuka

Chair of Selection Committee of the NAKAI Award

本学会では創立 10 周年を機に、2000 年より表記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。

仲井賞選考委員会において、応募内容について新規性、実用性、社会における貢献度の観点から、慎重かつ厳正に審査した結果、下記を「第 25 回 製剤機械技術学会 仲井賞」受賞者として会長に報告し、理事会にて受賞者が決定いたしました。

## 記

・ 受 賞 者：武内 優貴、一色 利浩、味園 隼人（フロイント産業株式会社）

・ 受賞業績題目：生産性および自動化を飛躍的に向上した錠剤コーティング装置の開発

・ 受 賞 理 由：武内優貴らが開発した新型錠剤コーティング装置（ハイコーターHV）は、既存の装置に対する顧客の要望を解決し、環境問題にも対応する優れた装置である。従来装置に比べてスプレー工程時間の 40%の効率化や自動洗浄機構の改善による使用水量の 30%削減、自動錠剤サンプリング・計量機構による工程管理の自動化による終点管理などを実現しており、生産工程における貢献度が非常に高い。本技術は特許出願が行われ、特許査定を受けていることから新規性と進歩性が認められたものであると言える。また、開発された装置は既に多数の企業に納入され、複数台が生産設備として稼働中にあることから実用性は実証されている。本開発は将来のコーティング工程の全自動化に繋がるものであり、製剤生産工程における貢献度も申し分ない。以上の理由から、選考委員会は武内優貴らのグループの成果が仲井賞の受賞に値すると判断した。

以上